

NO.0002

平成 12 年

10 月 28 日

一如会だより

駒澤大学高等学校 一如会 事務局

〒158-8577 東京都世田谷区上用賀 1-17-12

TEL03-3700-6131 FAX03-3707-5689



駒大高吹奏楽部

全国大会金賞（日本一）の快挙



第 48 回全日本吹奏楽コンクール 9 月 29 日 普門館

吹奏楽部 全国大会金賞受賞報告

顧問 吉野信行先生

吹奏楽部は 9 月 29 日、杉並の普門館で行なわれた吹奏楽コンクール全国大会へ東京都の代表として出場し、金賞を受賞致しました。全国大会出場は昭和 56 年の初出場以来 7 回目でしたが、過去の成績は銀賞が 5 回、銅賞が 1 回。金賞受賞は今回が初めてで、創部 34 年目の快挙となりました。

今年のメンバーはスタープレイヤー不在で初心者も多く、1 月に新体制でスタートした時には予選通過も危ぶまれるほどの拙い状態でしたが、技術の不足を謙虚で直向きな

練習姿勢と結束力をもって補い、数か月間で驚くほどの成長を見せてくれました。高校生が持つ無限の可能性に改めて感動を覚えました。

今まで吹奏楽部の活動を支えて下さった多くの皆様に心から御礼申し上げますと共に、これからは“日本を代表する高校バンド”と呼ばれるようになるべく、精進を重ねて参る所存です。今後とも応援よろしくお願い致します。



一如会より
ソプラニーノ・クラリネット
(50 万円相当) を贈呈しました。

役員会 報告

去る 10 月 14 日（土）午後 3 時より、駒澤大学高等学校会議室において、平成 12 年度第三回役員会を開催しました。

出席者 17 名で活発な発言が続き 3 時間にわたり以下の内容について審議されました。その結果をご報告します。

I、総会の反省

準備として、余裕ある十分な時間をとりたい。5 時より 6 時開会が参加しやすい。他総会という固いイメージを払拭して、気軽に参加して頂くためのたくさんの意見が出されました。今後引き続き検討を重ねて参ります。

II、年間行事スケジュール

①平成 13 年度総会日程

平成 13 年 5 月 26 日（土）に開催

②忘年会の予定

平成 12 年 12 月 9 日（土）に開催

会費振込をもって出欠回答とする

III、会費の代理徴収に関して

結論として会の目的達成のためには、全員加入による代理徴収は、必要条件であるとの認識で合意しました。但し、会員のみなさまのより一層のご理解・ご援助を頂くために、一如会独自の会報を充実させ、会の存在及び

活動を入会前（在学中）に周知・浸透させること。組織を整備して、運営を更に透明化し、より多くの会員の声に耳を傾け、20 年間の『旃檀』・『会報』の発送内容等を含め、常に会活動の見直し修正を図っていく必要がある等の議論がありました。

IV、会則の見直し

現教職員の取扱いに関して、特別会員として迎え入れ、学校と一体感をもって活動していくことが好ましいとの出席者全員の合意により、本日をもって次の通り会則改正決定。

【会 員】

第 3 条 本会は、次の会員をもって組織する。

- (1) 正会員 駒澤大学高等学校卒業生の父母全員
- (2) 特別会員 駒澤大学高等学校教職員及び元教職員

附則 この会則は、平成 12 年 10 月 14 日から施行する。

※ 下線（波線）部分が変更箇所です。

V、その他

- ①吹奏楽部の全国大会金賞受賞により
50万円相当の物品贈呈決定。
- ②水野龍子さん(S50)の委員辞任の承認
- ③役員会を年4回程度の定例会とする。
次の第4回役員会は
平成13年1月27日(土)午後2時開催
- ④今後の検討課題
組織の整備・総会のあり方
会報の発送作業・会報のネーミング

忘年会のご案内

12月9日(土)

18時30分より

二子玉川の富士観会館において一如会の忘年会を開催します。皆さまお友達お誘い合わせの上、お気軽にご参加頂けますようご案内申し上げます。

参加希望者は、11月10日(金)までにお手数ながら会費8,000円を指定口座へ振込んで下さい。振込みをもって出欠回答とさせていただきます。

詳細は、同封の『忘年会のご案内』をご参照ください。



言葉の輪

平成9年度卒業生の父(58才)

人と人との繋がり

ふと『一如会だより』というものに目を通させて頂きました。息子の在学中は、全く学校とは縁の無かった私です。卒業後もこのような形で繋がりがあることを初めて知り、その無頓着さに妻は半分呆れておりますが、今の世情からして人間同士の繋がり的重要性

を痛感するものです。

会の具体的な中身については知る由もありませんが、意義ある後援事業が成され、実のある団体に開花することを期待します。また、このような会の運営にどのような方が携わっておられるのか、たぶん多くのお母様方が努力されてるのでしょうか、頭の下がる思いがします。何も出来ない私ですが、やはり我が子の母校の発展は嬉しいものです。影ながらエールをおくります。

投書(会員の声)御礼

早速、原稿をお寄せ頂きありがとうございます。ご推察の通り、昨年の総会で事務局(10名内女性8名)が整備され運営に携わっています。前例の無い零からの出発で、またほとんどが定職を持ちながらのお手伝いとなる為、参加できるのは毎回5~6名で1700通ほどの発送作業だけでもハードです。今後、総務部・厚生部・広報部等の組織を整備し、多くの方々に運営に参加して頂き、各任務を分担していただけたらと願っています。また、これからも引続き会員の皆様に、会の存在及び内容を十分に認識して頂けるよう努力して参ります。

お知らせ

事務局より

お知らせ

今後の予定

今回、終身会費3万円の用途についての検討内容、説明等を掲載する予定でしたが、会員さんからの寄稿があり、紙面の都合により次回(2月末)にまわす予定です。次号をご期待ください。

会員の声(言葉の輪)

今回の役員会で、『一如会』の名前を変更したらどうかという話が出ました。会員のみなさまの率直な建設的なご意見を、随時お待ちしております。

また、会員さんの近況、子どもの成長、自慢話、世評、随筆等何でも結構です。会員同士の情報交換、交流の場として利用して頂ければ幸いです。原稿をお寄せください。匿名希望の場合はその旨明記をお願いします。



会報等の郵便物が毎回20通ほど、転居先不明で配達不能となっています。住所変更等がありましたら、ご一報ください。

